

MIFA 創立 30 周年記念誌

そのとき **MIFA** は 2013-2023

2013年（平成25年）

はじめに

MIFA は今年、創立 30 周年という大きな節目を迎えました。本冊子は、これを記念して制作したもので、2013 年から 2023 年までの MIFA の活動についてまとめたものです。以下の 3 つの内容から構成されます。

2013～2023 年の活動年表

10 年前の創立 20 周年には冊子「20 年の歩み」を作り、創立から 2013 年までの活動を年表化しましたが、本冊子では 2013～2023 年の活動を年表化しました。写真を多く掲載し、楽しく眺めながら過去を振り返ることができるようにしました。

コロナへの対応

この 10 年を振り返ったとき、忘れることができないのが新型コロナによるパンデミックです。MIFA も日本語教室の休止など大きな影響を受けました。役員会やコーディネータ会議で議論しコロナへ対応してきました。コロナに対して行った施策や工夫、そのときの状況などを役員、コーディネータの皆さんが分担して書きました。

コロナ下の学習者

コロナは学習者の日本語学習や生活にも大きな影響を与えたことと思います。コロナ下の日本語学習や生活について学習者自身が書いた文章を掲載しました。

- 1月 新春の集い
立食パーティー・各国料理・アトラクションなど
於：町田市民フォーラム 3階 調理室・和室
- 2月 日本語発表会 於：町田市民フォーラム 3階ホール
主催：町田国際交流センター
協力：MIFA・町田日本語の会
MIFA より学習者 3名参加
- 3月 ブラッシュアップ講座（全2回）
- 4月 定時総会
- 7月 夏の集い（バーベキュー大会） 参加者：70名
於：町田市大地沢青少年センター
- 7月 ブラッシュアップ勉強会
- 9月 日本語学習支援ボランティア養成講座（全8回）
- 10月 MIFA 創立 20 周年記念行事
第一部 式典・講演会・パ・パ・アートショー等
参加者：約 100 名
講演会「世界の振り見て、我が振りなおす」
講師 山本 浩氏
ペーパーアートショー
講師 廣岡 正勅氏
於：町田市文化交流センター6F 大ホール
第二部 懇親会
参加者：約 50 名
於：ホテル ザ・エルシィ町田
- 10月 MIFA 創立 20 周年記念誌「20 年の歩み」発行
- 12月 第3回 日本語スピーチ大会
学習者 11名スピーチ
参加者：約 50 名 於：町田市文化交流センター
- 12月 秋・冬のバザー
主催：町田ボランティア連盟協議会主催
於：ぼっぼ町田 前広場

※ MIFA ニュースを 6 回発行



この年の出来事

- ・アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高
- ・参院選で自民大勝「ねじれ」解消
- ・富士山 世界文化遺産登録
- ・2020 年夏季五輪・パラリンピック開催地、東京に決定
- ・伊豆大島の土石流など自然災害で被害相次ぐ

2014年（平成26年）

2015年（平成27年）

- 3月 日本語発表会 於：町田市民フォーラム 3階ホール
主催：町田国際交流センター
協力：MIFA・町田日本語の会
MIFAより学習者2名参加
- 3月 春の集い
立食パーティー・各国料理・アトラクションなど
於：町田市民フォーラム3階 調理室・和室
- 4月 ブラッシュアップ講座
- 4月 フォローアップ講座
- 4月 定時総会
- 4月 団体として町田国際交流センターに入会
- 5月 春のバザー 町田ボランティア連盟協議会主催
於：ぼっぼ町田 前広場
- 7月 夏の集い（バーベキュー大会） 参加者：62名
於：町田市大地沢青少年センター
- 7月 ブラッシュアップ勉強会
- 9月 日本語学習支援ボランティア養成講座（全8回）
- 11月 第4回 日本語スピーチ大会
学習者10名スピーチ
参加者：約80名
於：町田市文化交流センター



※ MIFA ニュースを6回発行
 ※ 参加予定で準備していた11月の「秋のバザー」は雨天のため中止

この年の出来事

- ・ロシア ソチ冬季五輪
- ・集団的自衛権容認
- ・消費税5%→8%に
- ・ノーベル物理学賞受賞 赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏の3人
- ・御嶽山噴火

- 1月 新春の集い
立食パーティー・各国料理・アトラクションなど
於：町田市民フォーラム3階 調理室・和室
- 2月 日本語発表会
於：町田市民フォーラム 3階ホール
主催：町田国際交流センター
協力：MIFA・町田日本語の会
MIFAより学習者3名参加
- 4月 定時総会
- 7月 夏の集い（カレーパーティー）
参加者：63名
於：町田市大地沢青少年センター
- 7月 ホームページ改定
学習希望者に分かり易いように複数言語表示
- 10月 日本語学習支援ボランティア養成講座（全8回）
- 11月 第5回 日本語スピーチ大会
学習者10名スピーチ
参加者：約60名
於：町田市文化交流センター



※ 参加予定で準備していた5月の「春のバザー」と11月の「秋のバザー」は雨天のため中止
 ※ MIFA ニュースを6回発行

この年の出来事

- ・北陸新幹線 長野-金沢間 開業
- ・関東・東北豪雨 鬼怒川決壊
- ・ノーベル医学・生理学賞受賞 大村智氏
- ・ノーベル物理学賞受賞 梶田孝明氏
- ・ラグビーW杯 日本が歴史的3勝

2016年（平成28年）

2017年（平成29年）

- 1月 新春の集い
立食パーティー 各国料理・アトラクションなど
於：町田市民フォーラム3階 調理室・和室
 - 2月 日本語発表会
於：和光大学ポプリホール鶴川
主催：町田国際交流センター
協力：MIFA・町田日本語の会
MIFAより学習者2名参加
 - 3月 フォローアップ講座
 - 5月 定時総会
 - 5月 春のバザー参加
於：ぽっぽ町田 前広場
主催：町田ボランティア連盟協議会主催
 - 6月 支援者懇親会 参加者：25名
於：鳥よし
 - 6月 浴衣と書道の体験会
学習者の参加者：9名
 - 9月 秋の集い「野外パーティー」
参加者：63名
於：町田市大地沢青少年センター
 - 10月 日本語学習支援ボランティア養成講座（全8回）
 - 11月 第6回 日本語スピーチ大会
学習者11名スピーチ
参加者：約60名
於：町田市文化交流センター
- ※ MIFA ニュースを6回発行
※ この年、バザーへの参加は年1回



- 1月 新春の集い
立食パーティー 各国料理・折り紙・ゲームなど
参加者：約100名
於：町田市民フォーラム3階 調理室・和室
- 5月 定時総会
- 5月 フォローアップ講座
- 5月 「ボウリングを楽しもう」
参加者：20名
於：町田ボウリングセンター
- 7月 支援者懇親会
於：バスターミナル・レゾナントビル内「龍皇」
出席者：34名
- 7月 日本語発表会
於：和光大学ポプリホール鶴川
主催：町田国際交流センター主催
協力：MIFA・町田日本語の会
MIFAより学習者4名参加
- 11月 第7回 日本語スピーチ大会
学習者11名スピーチ
参加者：87名
於：町田市文化交流センター



- ※ MIFA ニュースを6回発行
- ※ 計画し準備した10月の小田原城遠足は台風のため中止
- ※ バザーへの参加は負担が大きいため、この年から中止

この年の出来事

- ・北海道新幹線が開業
- ・熊本地震
- ・電力自由化スタート
- ・リオデジャネイロ五輪
- ・ノーベル医学・生理学賞受賞 大隅良典氏

この年の出来事

- ・トランプ米政権発足、混乱続く
- ・衆院選で自民圧勝、民進が分裂
- ・ノーベル文学賞受賞 カズオ・イシグロ氏
- ・森友・加計・日報、政権揺るがす
- ・陸上男子100m、日本もついに9秒台

2018年(平成30年)

2019年(平成31年 → 令和元年)

- 1月 新春の集い
立食パーティー・各国料理・アトラクションなど
参加者：約 80 名
於：町田市民フォーラム3階 調理室・和室
 - 2月 日本語学習支援ボランティア養成講座(全8回)
 - 5月 定時総会
 - 6月 「ボウリングを楽しもう」
参加者：22 名
於：町田ボウリングセンター
 - 9月 フォローアップ講座 参加者：20 数名
 - 10月 日本語発表会
於：和光大学ポプリホール鶴川
主催：町田国際交流センター
協力：MIFA・町田日本語の会
MIFAより学習者3名参加
 - 10月 MIFA 創立 25 周年パーティー
出席者：33 名
於：バストウエスタン・レンブラントホテル
 - 11月 秋の集い「小田原城に行きましょう」
参加者：約 50 名
 - 11月 第8回 日本語スピーチ大会
学習者12名スピーチ
参加者：約 70 名
於：町田市文化交流センター
- ※ 創立 25 周年記念のクリアファイル作製
※ MIFA ニュースを 5 回発行



- 2月 新春の集い
立食パーティー・各国料理・アトラクションなど
参加者：74 名
於：町田市文化交流センター
 - 5月 定時総会
 - 6月 ブラッシュアップ講座
参加者：34 名
於：せりがや会館
 - 11月 ホームページのリニューアル
スマホでも見やすいように改善
 - 11月 秋の行楽「江の島への遠足」
参加者：33 名
 - 11月 第9回 日本語スピーチ大会
学習者11名スピーチ
参加者：約 70 名
於：町田市文化交流センター
 - 12月 日本語学習期間を4年とする4年ルール導入
 - 12月 ブラッシュアップ講座
参加者：39 名
於：せりがや会館
- ※ 10月の町田国際交流センター主催の日本語発表会に参加を予定していたが、台風のため発表会が翌年に延期
- ※ MIFA ニュースを 4 回発行



この年の出来事

- ・ピョンチャン冬季五輪 フィギュアで羽生結弦が連覇
- ・ノーベル生理学・医学賞受賞 本庶佑氏
- ・日産ゴーン会長逮捕
- ・トランプ大統領、金正恩総書記、史上初の米朝首脳会談
- ・西日本豪雨、北海道地震、大型台風など災害相次ぐ

この年の出来事

- ・新天皇御即位。新元号「令和」
- ・ラグビーW杯日本大会、日本8強
- ・ノーベル化学賞受賞 吉野彰氏
- ・探査機「はやぶさ2」、小惑星「リュウグウ」に着陸成功
- ・消費税 10%スタート

2020年（令和2年）

2021年（令和3年）

- 1月 日本語発表会 於：町田市生涯学習センター
主催：町田国際交流センター
協力：MIFA・町田日本語の会（MIFAより学習者4名参加）
 - 2月 日本語学習支援ボランティア養成講座 中断
全8回の予定で月初めに開始したが、新型コロナ感染拡大により4回目終了時点で中断
 - 2月 新春の集い 立食パーティー・各国料理・ゲームなど
参加者：65名 於：町田市文化交流センター
 - 2月 コロナ感染拡大 日本語教室休止へ
2月20日から10月8日の再開まで7ヵ月以上休止
 - 4月 定時総会 書面評決で実施
議案書と表決書（返信ハガキ）を郵送
 - 5月 総会議案すべて可決（返信ハガキ集計）
 - 5月 第6代 MIFA 会長に黄川田南氏が就任
 - 6月 アンケート「MIFA 教室再開に向けて」郵送
教室再開時の参加意思を調査
 - 7月 アンケート結果により教室再開に向け準備開始
 - 8月 臨時役員会 教室再開時期について話し合い
 - 10月 7ヵ月ぶりに日本語教室再開
 - 10月 日本語学習支援ボランティア養成講座を再開(10/31～)
 - 12月 コロナ感染拡大 日本語教室 再び休止へ
12月1日から翌年11月1日再開までの11ヵ月間休止
- ※ 4月、5月の定例役員会を中止とした
 ※ 年会費は銀行振り込みのみに変更
 ※ MIFA ニュース発行は4月、11月の2回のみ
 ※ 日本語教室再開後の10月、11月は学習費を無料化



「新春の集い」集合写真



再開初日の日本語教室



MIFA ニュース
新旧両会長へのインタビュー記事

- 1月 日本語教室 休止状態で新年を迎える
この年は11月1日の再開まで教室休止
 - 4月 定時総会 書面表決で実施 議案書と表決書（返信ハガキ）を郵送
 - 5月 総会議案すべて可決（返信ハガキ集計）
 - 6月 学習者向けにワクチン接種情報サイトの案内を HP 掲載
 - 9月 定例役員会 オンラインで初めて開催
 - 11月 日本語教室再開（11月1日より）
2020年12月1日の休止から11ヵ月ぶり
- ※ 1～2月および5～7月の定例役員会を中止とした
 ※ 年会費は銀行振り込みのみ受け付け
 ※ MIFA ニュース発行は10月の1回のみ
 ※ 11月、12月は学習費を無料化



10月発行のMIFA ニュースに学習者メッセージ掲載

この年の出来事

- ・新型コロナ世界規模で流行
- ・コロナ感染拡大で全国の小中高へ休校を要請
- ・東京都 コロナ緊急事態宣言 2020/4/7～5/25
- ・新型コロナの猛威で東京五輪・パラリンピック 1年延期
- ・菅内閣が発足

この年の出来事

- ・バイデン氏、アメリカ大統領に就任
- ・新型コロナ ワクチン接種始まる
- ・大谷翔平、メジャーMVPに
- ・無観客で東京五輪・パラリンピック開催
- ・東京都 緊急事態宣言 2021/1/8～3/21、2021/4/25～6/20、2021/7/12～9/30
- ・東京都 まん延防止等重点措置 2021/4/12～4/24、2021/6/21～7/11
- ・ノーベル物理学賞受賞 眞鍋淑郎氏
- ・菅首相1年で退陣。岸田内閣が発足
- ・横綱白鵬引退

2022年（令和4年）

- 1月 感染急拡大 日本語教室 再び休止
1月16日から7月1日の再開まで約半年間休止
- 2月 定例役員会 オンラインで開催
- 3月 定例役員会 2022年度の年会費無料化を総会議案とすることを決定
- 4月 定時総会 書面表決で実施 議案書と表決書（返信ハガキ）を郵送
- 5月 総会の全議案が可決（返信ハガキ集計）
2022年度の会費無料化決定
- 5月 定例役員会に加えて臨時役員会を開催
教室再開時期について話し合い
- 6月 定例役員会 教室再開 7月と決定
- 7月 半年ぶりに日本語教室を再開
- 11月 学習費徴収を再開



- ※ 年会費は銀行振込のみ受け付け
- ※ 7月の教室再開時から夜間クラス曜日変更 木曜夜→水曜夜
- ※ MIFA ニュース発行は4月、7月、12月の3回
- ※ 学習費 1月、7～10月は無料とし11月から徴収再開

この年の出来事

- ・北京 冬季五輪開催
- ・ロシア軍、ウクライナ侵攻
- ・安部元首相、銃撃され死亡
- ・サッカー男子W杯 日本がドイツ、スペイン破り16強入り
- ・東京都 まん延防止等重点措置 2022/1/21～2/13
- ・知床観光船 沈没事故

2023年（令和5年）

- 5月 定時総会 4年ぶりに対面で開催
- 5月 日本語スピーチ大会 3年半ぶりに開催
- 7月 「浴衣・うちわ作り」体験
友好部主催イベントは
2020年「新春の集い」以来、3年半ぶり
- 9月 日本語学習支援ボランティア養成講座（全8回）
- 10月 MIFA 創立30周年記念式典
講演会「多文化共生社会における地域日本語ボランティア」
講師 土井佳彦氏
学習者・会員によるスピーチ
立食パーティー形式の懇親会
於：町田市文化交流センター5階「けやき」
参加者：74名

- ※ 2023年度以降、年会費の支払いを銀行振込のみとすることを3月の役員会で決定
- ※ 創立30周年記念のクリアファイル作製
- ※ MIFA ニュース発行は4月、7月、10月の3回



この年の出来事

- ・野球WBC 日本優勝
- ・新型コロナ「5類」へ移行
- ・チャット GPT など生成 AI の利用者急拡大
- ・将棋の藤井聡太、前人未踏の八冠独占
- ・福島第一原発の処理水 海洋放出開始
- ・イスラエル・ハマス衝突 開始から1ヵ月 ガザ側の死者1万人を超える

コロナへの対応

コロナ下、MIFA が行った施策や工夫、そのときの状況などについての記録です。



コロナ禍の始まり

私が新型コロナウイルスの報道に初めて接したのは、2020年2月3日に横浜港に到着した豪華客船内のコロナ発生でした。その後、巷では次々とクラスターが発生、小学校は閉鎖され、三密と云う言葉が生まれ、マスクの着用が必須となり、不要不急の外出は控えるようになりました。

MIFA に於いても教室運営が困難になり、残念ながら2020年2月20日から休止へ。そしてこの状態が同年10月まで続きました。休止が長引くにつれ、学習者のことが心配に…。全員に届けるのは無理としても、何とかMIFAの気持ちを伝えたい。…と思いはじめた矢先に、広報部から学習者の皆にメッセージを送りたいとの提案があったのです。勿論賛成。役員会の承認を得、「がんばろう！ MIFAのみんな」（ページ16 資料1）と題した日本語・英語・中国語のメッセージを2020年3月中旬ホームページに、同年4月初旬MIFA ニュース140号に掲載しました。その後、同年4月中旬にベトナム語の同様メッセージをホームページに追加掲載しました。

5月と云えば定時総会。2020年度は初めて書面で賛否を問う形となりました。私としては会長を辞するに当たっての挨拶をさせていただくつもりでしたが叶いませんでした。正にコロナ禍の始まりで、以降3年間にも及ぶものとは思いませんでした。

（顧問・前会長 大和田 昭文）

緊急事態宣言の街

2020年4月に東京都等（他に神奈川県、千葉県、埼玉県等）に1回目の緊急事態宣言が出ました。都は各種の社会経済活動に休止や休業の要請。対象はパチンコ等遊戯施設、野球、サッカー等の観戦、花見等宴会、観劇や音楽会、学校、講演会、食堂、飲み屋の時間制限やアルコール制限、等々いろいろでした。会社や学校では接触を減らすためリモートでの仕事や授業がふえ少し電車がすきました。街では屋内外を問わずほぼ

全員がマスク着用。マスクを買求める人がドラッグストアに列を作って並んだり、三密回避の人数制限で入店待ちの列ができてしまいました。夜は店が早くに閉まって、街はけっこう寂しくなっていました。その後も緊急事態宣言は2021年に3回出ました。休止、休業の対象となった仕事や商売をする方は困った人もいたようです。旅行や帰省を控える人が多くゴールデンウィークやお盆休みでも飛行機、新幹線は空席が目立ち、高速道路の渋滞もありませんでした。

このような中、MIFAも日本語教室を満足に開くことができない状況が長らく続きましたが、2022年7月の教室再開後は再び休止することなく今に至っています。再開後には多くの会員、学習者が戻って来られました。感謝です。

（副会長 松崎 罔夫）

リモート支援・学習の実施規定

対面教室が2020年10月から再開予定であったものの感染状況の予測は困難で、状況が悪化し教室が開けない場合も想定して対策を検討する必要があった。また、教室が開いていても感染期間中は出席したくない支援者・学習者への配慮も必要であった。

その要求事項に日頃から頭の片隅に合ったりリモート支援策がうまく合致したので、教室再開開始前から複数の役員の助言を元に実施案を作成し2020年10月5日のコーディネータ会議でその内容を説明、13日の役員会で承認、10月末から実施した。当初は10ペア程度の参加者であったがコロナ期間を通じ15ペア前後と安定して推移していたので、学習者の日本語能力の維持にある程度の効果があったのではないかと考えている。

その後、本実施策はコロナ期間中限定の規定であったが、支援者の要望により2022年6月に平常時（コロナがおさまり会費をいただけるようになった時）の実施規定を定め、今日に至っている。

（語学部 程原 清明）

日本語教室再開に向けて話し合い

2020年2月に教室が休止となった。最初はコロナの脅威がどの程度かも分からず、毎月役員会で次月の休止を決定することを繰り返していたが、状況がある程度判明した2020年6月、新体制となった役員会で教室再開について議論を始める。誰も経験したことが無く今後の予測も難しいので、アンケートにより会員の意向を伺うことにした。アンケート結果は対面教室の再開希望が多かった（ペアがいる支援者の77%が再開希望）。アンケートと並行して会長を含むプロジェクトチームで東京都の感染防止策（いわゆる三密対策）などを参考に実施案を作成し7月の役員会で教室再開の承認を得た。但し、実行部隊はコーディネータが中心となるのでコーディネータ会議で実施案への賛同を確認したところ、検温、強制換気などの必要性が挙げられ、その強化対策追加を8月の臨時役員会で決定し2020年10月より対面教室を再開した。

結果的に見れば、2020、2021年度それぞれ約2か月間、参加者は50組前後と限られた範囲ではあったが学習者の日本語学習の継続や支援者の支援継続意識の維持に役立っていたら幸いである。

（語学部 程原 清明）

書面表決で行った定時総会

定時総会の準備は例年3月から始めますが、2020年は2月に教室が休止になり、緊迫した状況の中、通常形式による定時総会の開催は不可能と判断しました。代替案として、決算報告を含む各部からの活動報告や次年度活動予定を内容とする議案書、返信ハガキを会員に郵送し議案の承認を得るという方式をとることにしました。郵送での定時総会は結局2020-2022年の3年間続くことになりましたが、会員からの返信ハガキの回収率は3回とも70%台後半で、会則第15条に則って承認を得ることができました。返信ハガキには通信欄を設けましたので、皆さんの様子やご意見をすることもでき、また新年度スタート後には郵送にて結果報告をいたしました。

（総務部 鈴木 礼子）

ボランティア養成講座 中断と再開

2019年度「日本語学習支援ボランティア養成講座」は、山形美保子先生を講師にお迎えし、28名の受講者と共に2020年2月1日より毎週土曜全8回の予定でスタート。ところが、新型コロナウイルス感染拡大にともない2月20日から日本語教室が休止。本講座も4回終了したところで中断を余儀なくされました。その後も長らく中断した状況が続きましたが、8ヵ月を経た同年10月31日に本講座を再開することができました。

コロナ感染対策として、教室では机上の消毒、換気に気を付け、受講者にはマスクの着用・検温・手指の消毒をお願いしました。また、教室内が密にならないよう、時間帯を2組に分けて教室内の人数を減らし、間隔を空けての着席、90分の講義形式のみとするなど工夫して行いました。講座内容にも、外国人学習者参加のグループワークや教室への見学を中止するなど変更すべきところもありました。これらのことは山形先生のご理解とご協力のもと行うことができたのです。

同年11月21日、MIFA紹介・語学支援活動の説明を以って講座は終了。15名（男性6名・女性9名）の方が入会されました。

（語学部 早田 紀子）

コロナへの対応

休止再開基準の設定

2020年2月に教室休止という未曾有の事態となり、5月に新体制となったMIFAは当初から教室の感染対策の検討と共に、安心して再開できる時期の見定めという大きな課題を抱えることとなった。先ずアンケートを実施して会員の活動希望を確認し、関連団体に依って9月再開を目標にしたが、実際に再開したのは感染拡大が一息ついた同年10月。しかし、その時点では感染状況の収束は全く見通せず、直ぐにまた休止になるおそれがあった。そこで役員会は、どのような状況になったら再開した教室を休止するのかなど、その後の教室の休止・再開を判断する基準を定め、それに従って教室運営を一律に判断することにした。その基準として、確かに誰もがアクセス可能な東京都の感染状況に関する総括コメントを採用し、それを見れば会員・学習者が休止・再開の時期を推察できるようにした。また同時に、感染者が出たときの対応組織とその実行すべき事柄、対応組織への報告ルールを決め、教室の感染対策などと共に「MIFAの新型コロナ対策」(ページ18 資料2)として周知することで、感染者発生の事態に備えた。

(会長 黄川田 南)

学習者向けコロナワクチン情報サイトの紹介

「学習者のために何かしてあげられることはないでしょうか？」それは、2020年夏、教室でのコロナ感染防止策を検討する中で、ある役員から出されたご意見でした。この一言をきっかけにして、同年9月に「新型コロナ(Covid-19)で困ったときは」(ページ17 資料2)と題し、学習者が多言語で相談できる公的機関の窓口を紹介することになり、さらに、それは同年11月の「MIFAの新型コロナ対策」(ページ18 資料3)の柱の一つにもなったのです。

遡ると、教室が休止中の20年3月にも、MIFAは、慣れない異国でのコロナ禍に大きな不安を感じているだろう学習者を励まそうと、「がんばろう！MIFAのみんな」(ページ16 資料1)と題する応援メッセージを、大和田会長(当時)と役員一同の名で採択、日・英・中の3カ国語でHPとMIFAニュースに掲載しています。

こうした流れを受けて、翌年の21年6月に「新型コロナ

ワクチン接種について」(ページ19 資料4)をHPに掲載。町田市等5つの市の接種予約の方法や予診票の書き方が分かる各市役所のリンクや外国人電話相談窓口を、学習者に案内したのです。

もとよりMIFA創立時、大塚初代会長は「町田地域にも(中略)異文化社会で生活していくことに悩んでいた、日本人との交流を望んでいる外国人は少なくない」と、思いやりとやさしきを持って、「MIFA設立の意義」をMIFAニュース創刊号(1993年7月)で述べています(全文をページ20に掲載)。こうした「人を思いやるやさしい視点」は、MIFAの素晴らしいDNAとして、これからも受け継いで行かなくてはならないと感じています。

(月曜クラス コーディネーター 植田 哲史)

初めてのオンライン役員会

通常の役員会が開催できない状態が続く中で、状況把握とコロナ後の再開に向けての対策のためにオンライン役員会を開いたらどうかという意見が検討され、その方法を模索しました。周囲ではZOOMによるものが多かったようですが、役員会メンバーの全員がLINEユーザーであったのでLINEのビデオ通話で実施することにしました。スマホではなくPCで使用すれば画面も大きくなるので良いのではないかと考え、準備を進めました。グループラインを作り、2021年9月14日午後第1回オンライン役員会を開きました。声が重ならないように発言は一人ずつにするように注意し、順番に各部報告と意見交換などを行い、約2時間半近くの充実した会議でした。前もって討議案、報告事項のメモを配信し、それらを手元資料としましたので、わかりやすく問題なく進行することができました。2022年2月にも同様の会議を実施し、2022年度は会費を徴収しないことにするといった具体的な討議もでき密度の濃い有意義な役員会となりました。

(総務部 鈴木 礼子)

コロナ禍におけるMIFAニュース

コロナ禍で日本語教室休止に加え、「日本語スピーチ大会」や「新春の集い」などの恒例イベントが軒並み中止となり、MIFAの活動が縮小しました。それとともにMIFAニュースも発行回数を大きく減らすことになりました(2020年2回、2021年1回、2022年3回)。

発行回数が少ないながら広報部ではオンラインによる編集会議、LINEやメールによるやりとり等を使ってMIFAニュースの制作を行いました。記事の内容は、役員会やコーディネータ会議などの議論を経て決まった教室休止・再開の基準やコロナ感染防止策の具体的な内容、新たに会長に就任した黄川田会長と大和田前会長へのインタビュー、コロナ下の様子が伺える学習者や支援者からの寄稿文など。コロナの影響で会員同士が会ったり支援者と学習者が会ったりする機会が大きく減少する中、MIFAの状況を伝える情報源としてMIFAニュースへの期待は大きかったのではないかと思います。

(広報部 濱田 敏裕)

オミクロンで見直した休止再開基準

2020年12月から2度目の休止に入っていた教室は、感染者数が基準以下となり21年10月に再開したが、11月に確認された新しい変異株(オミクロン株)による感染が22年の年明けに、1週間で15倍強というそれまでにない勢いで拡大する事態となった。この状況を小池都知事は、「超高速に極が付くスピードでの感染」と表現し、短期間でかつてない感染爆発が予想された。1月9日には早くも沖縄県等に蔓延防止特別措置が適用されたため、その2日後の役員会で、オミクロン株への対応を議論した。オミクロン株の感染力は高いが重症化リスクはデルタ株ほど高くないとのことだったが、感染者数が爆発的に増えれば高齢の支援者が多いMIFAでは心配となるため、従来の教室の休止・再開の基準を1レベル厳しくし、さらに超高速感染に備えて早期適用できるよう変更した。そのわずか二日後、東京都の感染者数のレベルは新たに決めた基準に達したため、教室を即座に休止。その後に感染者数は第6波として激増したが、早く休止したためその影響を避けることができた。

(会長 黄川田 南)

会費無料化と会費の銀行振り込み

コロナ第6波直後の2022年3月の役員会、2022年度もコロナ収束が極めて不透明であり、教室再開及び活動の目処がたたないことから、2022年度会費の無料化を総会付議事項とすることにしました。同年5月、総会での承認を得て2022年度会費の無料化が決まり

ました。会費の無料化は、会則が制定された1993年以降初めてのことで

2020~2021年度については、新年度を迎えたときに対面での会費徴収が困難であったため、会費は銀行振り込みのみとしました。このときに銀行振込での会費徴収が大きな問題もなく実施できたことから2023年3月の役員会で2023年度以降の会費徴収も銀行振込のみにすることに決まりました。

一方、郵貯口座も振込先に加えて欲しいとの会員の声があり、2023年1月の役員会で口座申請の許可を得て、必要書類一式をゆうちょ銀行に提出しました。しかし、2月にゆうちょ銀行より「口座開設はお受けできない、又理由はお答え致しかねる」旨の回答があり、郵貯口座の追加を断念しました。誠に残念でした。

(会計部 大江 康照)

再開した日本語教室

2020年2月に休止した日本語教室は、感染対策を取った上で同年10月に再開した後、コロナ患者増加による2度の休止期間を経て2022年7月に本格的に再始動しました。

再開した日本語教室にコロナが一番影響を与えたのは、参加者の数です。コロナ前は土曜Aクラスで16組が活動していましたが、2020年10月学習再開時の教室に現れたのは4組だけでした。その後もコロナ緊急事態宣言が出たことなどで失職、転職、帰国や引っ越しを余儀なくされるなど外国籍学習者の置かれる状況は大きく影響を受けました。その結果、土曜Aクラスではコロナ前に登録していた38名の学習者(待機中の学習者含む)のうち25名が2021年11月の再開時点で退会するという事態となりました。また活動可能な支援者も16名から9名へと減りました。しかし2022年7月に教室が再開されると新規の入会希望者が順調に増え、現在では過密にならない教室環境を保ちながら10組が活動しています。

コロナをきっかけに支援者と学習者の連絡先情報の更新や、教室の広さと参加者数の適切なバランスなど通常時に見逃されがちなことを考えることができました。これを一過性のものにせず今後も円滑な教室運営に反映していきたいと思います。

(土曜クラス コーディネーター 武田 伴子)

資料1 「がんばろう！ MIFA のみんな」

2020年3～4月、ホームページに学習者に向けた応援メッセージを掲載しました。

がんばろう!! MIFAのみんな

2020.03.18
MIFA会長 大和田昭文
MIFA 役員一同

MIFA学習者の皆さん、お元気ですか？
MIFAがお休みになって1か月以上がたちました。

これからどうなるのか、みなさんとても心配していると思います。早く学習を始めたいと思っている人もいるでしょう。私たちが支援者もみなさんと同じ気持ちです。お互いに少しの間がまんしましょう。

いち早く、笑顔でみなさんとお会いし、いっしょに学習できることを楽しみにしています。
それまでみなさん、病気になるよう注意して、毎日を元気にすごしてくださいね。

Everybody, Stay Strong!!

2020.03.18
MIFA Chairman Akifumi Owada
All MIFA officers

Everybody, How are you?
More than a month has passed since MIFA took a break.

In current circumstances, we think everyone is very worried about what will happen in the future. Some of you may want to start learning as soon as possible. We supporters feel the same way as you. We will be very appreciated if you have more patience.

And we are so looking forward to seeing you again as soon as we can. Until then, please take care, and keep healthy every day. Best wishes for everyone.

各位 MIFA 学员，我们一起加油!!

2020.03.18
MIFA 会长 大和田昭文
MIFA 役員 一同

MIFA 的各位学员，大家还好吗？
距离暂停 MIFA 的学习活动至今已经过去一个月。

目前大家一定非常担心今后的发展状况，也相信肯定有很多朋友想要早日开始在 MIFA 的正常学习。我们志愿者也和大家感同身受。但是在疫情面前，健康和平安始终是最重要的，让我们暂时忍耐。

我们也期待能尽早用最真诚的笑容和大家相见，能尽早重新开始 MIFA 的活动。同时我们也诚挚地祝愿大家，保护好自己，健康地生活。

Các bạn học viên MIFA, Cố lên !!

2020.03.18
Chủ tịch MIFA Akifumi Owada
Tất cả các sĩ quan MIFA

Các bạn học viên của MIFA có khỏe không?
Đã hơn một tháng từ ngày MIFA nghỉ rồi.

Chúng tôi nghĩ các bạn học viên đang lo lắng là từ bây giờ sẽ như thế nào? Chắc cũng có các bạn học viên mong muốn bắt đầu học lại sớm. Chúng tôi nhường người hỗ trợ cho các bạn cũng cùng suy nghĩ. Chúng ta hãy cùng nhau kiên nhẫn thêm một ít nữa nhé.

Chúng tôi hy vọng sẽ sớm gặp lại các bạn để cùng nhau học.
Các bạn học viên hãy cẩn thận để không bị bệnh và giữ gìn sức khỏe mỗi ngày nhé.

資料2 「新型コロナ(COVID-19)で困ったときは」

2020年9月、新型コロナで困ったときに多言語で相談できる公的機関の窓口をホームページで紹介しました。

■ 2020-09-22 お知らせ

しんがた こま
新型コロナ (COVID-19) で困ったときは

しんがた こま
新型コロナ (COVID-19) のことで困ったときは、あなたの国のことばで相談できます。
相談にお金はかかりません。

1. TMC Navi (ていーえむしー なび)

<https://tokyo-tsunagari.or.jp/joint/>

- 電話で相談できます。
☎ 03-6258-1227
- 月曜～金曜 10:00～16:00
- 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、やさしい日本語など

2. 東京都 新型コロナコールセンター

<https://covid19.supportnavi.metro.tokyo.lg.jp/service/XI3TKpRu4myFV63>

- 電話で相談できます。
☎ 0570-550571
- 毎日 9:00～22:00
- 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語など

3. 多言語支援センターかながわ

<http://www.kifjp.org/kmic>

- 電話で相談できます。
☎ 045-316-2770
- 月曜～金曜 9:00～17:15
- 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、やさしい日本語など11か国語

4. 横浜市多文化共生総合相談センター

<https://www.yokoinfo.jp/>

- 電話で相談できます。
☎ 045-222-1209
- 月曜～金曜 10:00～16:30
第2・4土曜 10:00～12:30
- 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語など

5. さがみはら国際交流ラウンジ

<http://www.sagamihara-international.jp/index.html>

- 英語 English
- 中国語 中国語
- 韓国語 韓国・朝鮮語
- ポルトガル語 Português
- スペイン語 Español
- タガログ語 Filipino
- タイ語 ภาษาไทย
- カンボジア語 (クメール語) ភាសាខ្មែរ
- ベトナム語 Tiếng Việt

資料3 「MIFAの新型コロナ対策」

2020年11月、MIFAの新型コロナ対策についてホームページに掲載しました。「教室での感染防止策」「リモート学習の導入」「感染者発生時の対応」「感染状況変化への対応」および「学習者向け相談窓口の紹介」の5つの柱から構成されます。MIFA ニュース No.141(2020年11月発行)では、もう少し詳しい内容を掲載し会員に周知しました。

お知らせ

2020-11-17

MIFAの新型コロナ対策

私たちMIFAは、すべての支援者・学習者が安全・安心に活動できるよう以下の対策を実行し、withコロナの時代を乗り越えていきます。

教室での感染防止策

安心して支援・学習ができるよう、感染防止策（ソーシャルディスタンスの確保・消毒・換気・検温・マスク着用など）を定め、日本語教室で実行します。

リモート学習の導入

コロナ禍で、感染の不安など様々な事情により教室への参加が難しい支援者・学習者のために、リモート学習を導入しています。

感染者発生時の対応

新型コロナの感染者や濃厚接触者が発生した場合、予め定めた報告ルートに従って報告し、感染対策班（メンバー：会長・副会長・総務部長・語学部長）が対策にあたります。

感染状況変化への対応

今後、コロナの感染状況が拡大した場合、感染対策班（メンバー：会長・副会長・総務部長・語学部長）が東京都、町田市および周辺地域の新規感染者数の動向等を勘案し、教室の休止を決定します。

学習者向け相談窓口の紹介

新型コロナで困った学習者のために、多言語で電話相談できる東京都などの公的機関の相談窓口をMIFAホームページにて紹介しています。

資料4 「新型コロナワクチン接種について」

2021年6月、学習者に向けて新型コロナワクチンの案内サイトや相談窓口をホームページで紹介しました。

お知らせ

2021-06-30

新型コロナ ワクチン接種について

PDFのチラシはこちら (内容は以下と同じです)
<http://mifa-machida.info/wp-content/uploads/2021/06/vaccinesupport.pdf>

1. 市役所から手紙と接種券（注射のチケット）が届いたら

下のURLを見てください。接種までの流れが、英語、中国語、韓国語など17か国語でわかります。（新型コロナワクチン接種のお知らせチラシ）
<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/info/2021/05/post-23.html> (東京都)

2. 皆さんが住んでいる市のワクチン接種のことは

- 市のホームページに予約のやり方や接種を受ける場所などが載っています。
 (ページの上のところで(スマホではページ右上のMENUボタンで)、言語が選べるようになっています。)
- スマホ、PCを使って予約するときのマニュアルを、英語、中国語、韓国語でみたい人は、②相模原市の b.予約の流れ(ウェブ・LINE)をみてください。

①町田市

- a. <https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/hokenjo/covid19-wakutin/index.html>
- b. 電話で予約するときはこちらです。日本語でしか話できません。
 ☎042-785-4117

②相模原市

- a. <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kenko/kansenyobo/1019910/index.html>
- b. 予約の流れ(ウェブ・LINE) ⇒ スマホ、PCを使って予約するときのマニュアルを、英語、中国語、韓国語の3か国語でみることができます。
<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kenko/kansenyobo/1019910/1022588/1022970.html>
- c. 電話で予約するときは、外国人だけが使える電話があります。英語、中国語、韓国語、イタリア語の4か国語で話ができます。
 ☎042-767-2104

③横浜市

- a. <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/vaccine/vaccine-portal/>
- b. 電話で予約するときは、英語、中国語、韓国語など17か国語で話ができます。
 ☎0120-045-070

④大和市

- a. http://www.city.yamato.lg.jp/web/shing/shing00000001_00011.html
- b. 電話で予約するときは、日本語と英語で話ができます。
 ☎046-260-0900
- c. 質問や分からないことがあるときは、大和市国際化協会に電話してください。
 英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、スペイン語の5か国語で話ができます。
 ☎046-265-6051

⑤座間市

- a. <https://www.city.zama.kanagawa.jp/www/contents/1612326982844/index.html>
- b. 電話で予約するときはこちらです。日本語でしか話できません。
 ☎0570-666-594

3. 予約票を書くときは

予約票を、英語、中国語、韓国語、ベトナム語など17か国語で見ることができます。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_tagengo.html (厚生労働省)

資料 5 「MIFA 設立の意義」

MIFA ニュース創刊号（1993 年 7 月）で初代会長の犬塚勝男氏が「MIFA 設立の意義」を述べています。この全文を掲載します。

MIFA 設立の意義

MIFA 会長 犬塚 勝夫

去る 4 月 25 日、MIFA（まちだ地域国際交流協会）が正式に発足いたしました。資金ゼロからのささやかな出発ではありますが、これから一步一步成果を生み出し、多くの人々から賛同され、支援されるような組織体にしていきたいものと希望しております。町田市は福祉、教育、文化、スポーツなどに対する取り組みが大変進んでおり、市民として大いに誇ってよいと思います。町田市に限らず、日本社会における現在の最大の課題は、いかにして豊かな共生社会を実現するかであると私は考えております。自然と人間の共生（環境）、外国人と日本人の共生（平和、人権）、障害者と健常者の共生（福祉）、生産者と消費者の共生（経済、農業）、生徒と教師の共生（教育）等々の共生に関する課題を解決し、真の意味で豊かな社会を築いていくことが期待され、切望されているのではないのでしょうか。

このような状況下で、町田地域に市民の手による民間国際交流団体が設立されたことは非常に意義深いことであり、今後行政に対してもさまざまな発言や提案を行える基盤ができたと言えます。行政が何もしてくれないからけしからんと批判するのではなく、私たちが行政に働きかけ、より良い地域作りに参加していくことが大切だと思います。私たちに何ができるかは会員一人一人がどれだけ国際交流のボランティア活動に取り組めるか、私利私欲を超えて豊かな共生社会の実現に向けて協力できるかにかかっています。町田地域にも多くの外国人が居住し、また勤務しています。異文化社会で生活していくことに悩んでいた、日本人との交流を望んでいる外国人は少なくないはずで、日本人の中にも、国際化について真剣に考え取り組んでいる人が多数いると思います。一人一人が人間として交流を深め合い、可能な範囲で活動を担い、豊かな共生社会を作り上げていきたいものです。多くの方々の参加を期待します。

コロナ下の学習者

コロナ下、MIFA は日本語教室の休止を余儀なくされました。オンライン学習で日本語学習を続ける学習者もいた一方で、日本語学習が満足にできない学習者もいました。コロナ下の日本語学習や生活の様子などについて学習者が書いた文章を 21～24 ページに掲載します。

本ページの文章は、2020 年 10 月発行の MIFA ニュース 141 号から転載しました。学習者のクラスは当時のものです。



日本でのニューノーマルライフ

ベントリーナ・ジョセリン（フィリピン 土曜 B）

私は 2013 年から MIFA で日本語の勉強をしています。毎週土曜日に必ず町田に通っています。勉強する時はほんとに楽しかったです。いろいろな人とであったことで、たくさんの国籍の方と友達になれました。

急にこのパンデミックは世界の問題になり日本語教室は休みになってしまい寂しくなりました。

コロナウイルスの発生は、今世紀で世界的に最も重大な健康災害です。多くの国が感染の検査と治療、感染者の隔離、集会の制限、移動の禁止によって広がるのを止めるのに苦労しています。

私は家で勉強の時間を作るのは大変です。自己流で勉強をすると続かず、教室に通う事でたくさん言葉を学び、勉強する事がとても楽しかったので再開を待っていました。

コロナで教室がお休みになって、仕事ばかりの生活になりました。私は高齢者施設で働いているので自分も高齢者も感染しないように十分に注意をしています。仕事では私の日本語が少し通じなくても、単語やジェスチャーで仲間たちと会話を楽しんで使っていました。高齢者は仲間たちとは違う言葉が出てくるので難しいです。それもまた良い勉強になります。

MIFA 教室に通う事で世界の文化にふれることができ知識が増えます。これからも、日本語を勉強していきたいので、私は日本語を学んで行きます。

コロナが落ち着き安全になったら教室で出会った方たちとまた旅行にいきたいです。

神様に私は、コロナウイルスがなくなるよう祈っています。

オンラインで日本語学習

ティティ・ルイン（ミャンマー 土曜 A）

私は MIFA 土曜日日本語教室で、日本語を勉強している学習者ティティ・ルインです。毎週楽しみに勉強しています。それが新型コロナウイルス感染拡大のため 3 月から MIFA の全日本語クラスが一時休みとなり寂しくなりました。土日は感染防御のためどこにも行けず自宅で過ごす時間が増えることになりました。

その時、渡辺先生から「ZOOM で日本語学習をやってみてもいいですね」と連絡があり、7 月上旬から ZOOM でのオンライン型日本語学習を始めました。それから、対面学習のような授業を受けることができ楽しみにしております。コロナ禍において、オンライン型の学習のメリットは感染症の防御となり安全に勉強ができることです。その他、教室などへ行く必要がないため、移動時間が別のことに活かせるというメリットもあります。デメリットは勉強中インターネット接続が悪くなることがあることです。また、パソコンの画面を長時間見続けるため目が疲れてしまうかもしれません。でも、私にとってはオンライン型の学習は対面学習と同じように勉強できるだけでなく、自宅から受講でき教室への移動不要のため、コロナが終息してもオンライン型学習を続けたいと思っています。

コロナ下の学習者

本ページの文章は、2021年11月発行のMIFAニュース142号から転載しました。学習者のクラスは当時のものです。

自宅で仕事と勉強

グエン ニュー トアン (土曜 B ベトナム)

私は去年(2020年)の夏から、ずっとテレワークしております。嬉しいことがたくさんあるし、寂しいこともあります。

● 仕事について

一番目に嬉しいことはテレワークするときに、交通費と移動時間がかかりません。その時間は自分の趣味をすることが出来ます。二番目にテレワークが好きな理由は集中することです。会社より自宅のほうが静かです。

好きなこともあります、好きではないこともあります。テレワークのコミュニケーションは直接ではなく、連絡アプリ(バックログやスラック等)しかありません。ビデオコールの機能がありますが、直接話したほうが分かりやすいですね。まあ、基本的に仕事のコミュニケーションは問題ございません。

● 友達と家族について

時々、町田市立総合体育館に友達とバドミントンをしに行きます。家族と話をするにはビデオコールしかありません。私の弟には子供がいます。チャンスがあれば、ベトナムへ家族に会いに帰りたいです。

● 日本語の勉強について

今年の春と夏は会社のN2トレーニングがありました。毎週土曜日に、オンラインで勉強しておりました。そのあと、N2のオンライン試験は合格でした。日本で働いて住んでおりますので、いつも日本語がとても大切だと思っております。日本での分からないことがまだたくさんありますので、もっと勉強したいです。MIFAの先生と友達にも会いたいです。

私のワクチン接種の予定は9月26日と10月17日です。コロナの状況が大丈夫になったら会いましょう。

コロナの中で日本語の勉強経験

ビスワル ギャネンドラ (土曜 B インド)

協力 妻 ギリ サンジャタ (月曜 インド)

私の名前はビスワル ギャネンドラです。インドからまいました。4年前(2017年)に日本に来て、その年の

10月にMIFAの生徒になりました。毎週土曜日の教室に行っていました。でも去年からコロナのせいで行けませんでした。私は日本語の勉強をとちゅうでやめたくないので、家内といっしょに毎日家で勉強しました。

家内もMIFAの生徒です。MIFAで先生といっしょに勉強していたときは日本語が本当にかんたんに分かりましたが、自分で勉強してみると困ったことがありました。そのため、教科書の内容を見てスケジュールを作って、漢字のフラッシュカードでちゃんと読み方と書き方を練習しています。ほとんどの時間、覚えやすいように言葉をかべにはり付けて読みます。ときどき寝る前に聴解の練習をしています。家で勉強した文法はコンビニとかお店へ買い物に行ったときに使っています。いっしょうけんめい勉強してだんだん日本語が分かるようになりました。

今、わたしたちはコロナがおさまるのをまっており、MIFAの先生といっしょに勉強をつづけます。

MIFAでの日本語の勉強

黄 ジン (月曜 中国)

私は、黄ジンと申します。中国人です。

北京に住んでいましたが、5年前(2016年)に日本に来ました。子供は二人いますが、家では、中国語を話しますので、日本語がなかなか上手くなりません。

去年からMIFAで勉強を始めましたが、すぐにコロナが始まり、ネット授業が始まりました。コロナはもう2年近くになり、とても心配です。出来るだけ家で勉強したり、ネットでピアノを教えたりしています。

今の先生は、とても親切に教えてくれます。私は日本語の試験を受けたいと先生に相談したら、支持してくれたので、挑戦することにしました。先生はこれまでの週一回から、追加して授業してくれます。

彼自身は、フィットネスをしたりゴルフをしたり、忙しい人ですが、私の勉強を手伝ってくれます。

私はとても感謝しています。真面目な先生に出会えて幸運だと思います。

試験まであと2ヶ月です。もっと努力して、助けてくれた先生を裏切らないように頑張ります。

コロナが終わって、MIFAの皆さんと会いたいです。よろしくお祈りします。

本ページ及び次ページの文章は、本冊子のために学習者が新たに書いたものです。

私とMIFAの一年半について

張 庭維 (火曜 台湾)

私は2019年に日本に来た台湾からの留学生です。日本に来る前、自分の日本語能力のレベルが低く、50音が覚えられる程度でした。来日後、よく大学に行って研究室で日本人のメンバーと交流し、半年ぐらい経ってN3に合格しました。しかし、2019年の年末からコロナウイルスが大流行になったので、私たちは登校禁止となり、人間関係の範囲が狭くなりました。その後の二年間、主に英語や中国語だけで留学生の友達と交流し、日本語を使わなかったため、日本語のレベルアップができなかったです。

友達の陳品蓉^{ちんひんよう}さんに紹介され、2021年11月にMIFAの火曜クラスに入りました。ちなみに、コロナウイルスの蔓延防止のために休止していたMIFAが再開したちょうどその時に入れたのがラッキーだったと思います。MIFAの火曜クラスに入ってから2ヶ月間ぐらい、支援者の金田恵先生と対面で日本語の学習をしました。放課後、火曜クラスの支援者、学習者たちと食事に行きました。でも、自分の日本語が下手なので会話の中で日本語で話せなく、大部分の会話の内容も理解できなく、大変交流しにくかったです。

2022年の年始、コロナウイルスの感染者数が増えたため、対面のクラスが中止になりました。金田恵先生のおかげで、日本語の学習を止めないでオンラインに変更し、ずっと毎週の火曜日朝10時から2時間で日本語の学習を続けました。そのため、自分の日本語が段々向上したと思います。2022年の春、コロナパンデミックが収束した後に、対面での授業が戻って来ました。教室で、毎火曜日にコーディネーターが挙げたテーマについて、皆さんは自分の体験を発表し、授業が面白くなりました。クラス後の食事でも皆さんと気楽にお茶を飲みながらおしゃべりしました。火曜クラスの支援者、学習者たちは仲間のようになり、素晴らしい

と思います。

私のMIFAでの一年半で日本語能力が向上しただけではなく、MIFA、火曜クラスや町田への帰属感も強くなりました。MIFAは幸せをもらえるところだと思います。MIFAの30周年おめでとうございます。

私の留学生活とMIFA

蔡 宜真 (火曜 台湾)

私の留学生活は2020年11月に日本ではじまった。留学前、研究だけではなく学校の日本語授業や人と人の交流で日本語を勉強するという留学生生活を期待した。しかし、コロナ禍で、入学式がキャンセルされ、日本へ渡航許可が延期され、授業がオンラインになり、イベントが全て取り消された。それで、人と人の繋がりだけではなく日本語の会話練習も難しくなった。半年を経て、日本語能力が店員さんの話がわかるぐらいに上がったのに、それ以外はわからなかった。私は挫折し、日本語を諦めようかと思った。

2021年11月、MIFAの再開のうちに、生徒としてMIFAに入会した。MIFAの御蔭で、日本で本物の授業(画面ではない)を受けられ、会話と聴解の練習機会が増し、段々日本語がうまくなった。そして、人と人の交流が増え、人と繋がりが強くなり、心強くなり、笑顔も出てきた。日本語を話せるので、研究室の外国人を手伝えるようになり、暮らしの情報も手に入れられるようになり、色々なこともできた。2年前に私は日本語を諦めなくて本当によかった。

我、MIFA、日本

フONG カイヒー (木曜夜 マレーシア)

みなさん、こんにちは。カイヒーと申します。

マレーシア出身で、日本に来て2年半ほどたちました。今大学で研究者として滞在しています。日本に住んでいると、人々や文化をより深く理解する時間が与えられます。これは観光客であることとは違います。特にMIFAに参加したあとです。

日本語を学ぶために、MIFAに参加しました。前にYouTubeで学んできましたが、その受け身の学習は限界があります。ですので、MIFAの1対1でネイティブの日本人とコミュニケーションによって学習するのはすごく役立つと思っています。また、レッスンは週に一回行われ、これが私に合っています。私は2022年の初めにクラスに申し込みましたが、COVID-19と先生不足のため、実際に参加できたのはその年の10月でした。時間がかかりましたが、それでも対面でレッスンに参加できて本当に良かったです。

日本語教室の支援者、前田先生と鍋谷先生が根気よく私に教えてくださったことに心から感謝しています。彼らのお話を聞いて、日本の文化や日本人の考え方についてもっと理解することができました。前田先生は知識豊富で、日本の多くの面白いことを教えて

くれました。特に印象に残ったのは、例えば京都市中心の通りには、皇居を中心に「上る・下る」という住所があることです。また、様々な種類の日本の飲み物や、日本人が普段どのように楽しんでいるかについても教えてくれました。鍋谷先生も親切な方で、日本語試験前に私と一緒に勉強してくださいました。

「浴衣・うちわ」イベントや3年ぶりのスピーチ大会によって、他の支援者や新しい友達と知り合いになることができました。みんな親切で助けてくれる人ばかりです。私にとって、MIFAは日本語を勉強するだけでなく、日本での生活を楽しくしてくれるコミュニティです。日本での滞在は、素晴らしい体験です。マレーシアにいる時に自分が日本で生活するとは思ってなかったです。自分が好きな研究をして、新しい言語を学んで、日本の文化を深く理解できて、日本の生活にとっても満足するようになりました。人生が豊かになった気がします。私が出会った親切な人々と、これまで日本で学んだすべてのことに感謝しています。

掲載文及び写真の権利はMIFAに属します。許可なく転用することをお断りします

| | |
|------|--|
| 発行日 | 2023年12月1日 |
| 発行者 | まちだ地域国際交流協会 (MIFA) 代表 黄川田 南 〒194-0013 町田市原町田 4-9-8 町田国際交流センター気付 ホームページ http://mifa-machida.info/ |
| 編集担当 | 濱田 敏裕 |



まいふあ
MIFA